

# ①ファン必見！！鉄道・産業遺産と歴史・廃墟に触れる旅

●滞在日数 6 日間 ●オホーツク紋別空港利用（旭川空港・都市間高速バス利用も可能です）

オホーツクと大雪山系に挟まれた自然豊かな町「滝上（たきのうえ）」町の 90%が森林を占め、まさに町が森に囲まれているといっても過言ではありません。その豊かな森、川がおいしい水、動植物、食の恵みを与えてくれます。そして、豊かな町には林業や農業を中心とした「産業・文化」が生まれました。時の流れとともに、栄枯盛衰した「たきのうえ的・産業遺産」を回ってみませんか。懐かしく、そして心に残る旅に出発です。

## 1日目

全国各地から向かうには、紋別空港がおすすめ！羽田直行便を利用すれば、お昼には紋別に到着。早速、移動にはレンタカーが便利なので、空港カウンターでレンタカーを借りて、旧国鉄渚滑線を眺めながら、いざ滝上へ



## 2日目

「たきのうえ的・産業文化遺産」の旅の始まりは、「滝上町郷土館」からスタートです。所蔵品 10,000 点以上は近隣博物館でも指折りの規模。滝上の歴史、生活文化、産業をわかりやすく学ぶことができます。また、SL 館があり、9600 型蒸気機関車、除雪車が静態保存されています。屋内展示も非常に珍しい施設となっています。

午後は、町内にある旧国鉄渚滑線「北見滝ノ上駅舎」をそのまま使った記念館と橋脚を再利用した「虹の橋」を見学してみても。また、町内には旧国鉄渚滑線の「濁川駅舎」「滝下駅舎」も現存しています。

明日はもう少し足を伸ばして、近隣の鉄道跡を見てみようかな？  
※滝上町郷土館は月、火曜は休館。※駅舎跡には一部私有地もあります。



## 3日目

今日はフリーで近隣の鉄道跡を散策してみよう。車で約 40 分、西興部には旧名寄線の「上興部駅舎」が現存。駅舎内は記念館になっており、気動車も展示されています。同じく、車で約 45 分の興部にも、SL が展示されています。紋別の渚滑は、鉄道の分岐拠点。現在でも SL が屋外展示されています。湧別の「旧中湧別駅舎」は汽車展示とともにホーム橋が現存しています。遠軽は今でも JR が走っており、最近では珍しい「スイッチバック駅」となっています。かにめしとそばが有名。また、秘境駅として話題を呼んでいる「白滝駅」周辺や準鉄道記念物・北海道遺産にも登録された丸瀬布の森林鉄道「SL 雨宮 21 号」は現在でも動態保存され、体験乗車できます。



## 4日目

今日は地元民ガイドとともに、「滝上（濁川）森林鉄道」の橋脚跡を散策しましょう。昭和初期に作られ、約 20 数年運転された森林鉄道。その面影はいま橋脚のみが残され、心を打ちます。当時の写真などを眺めながら、地元民ガイドがご案内します。（有料・要予約）

また、様々な歴史や農業・林業の盛衰を見ることが出来る「オシラネツブ地区」もおすすめ。今でもしそや小豆など昔からの農村風景が広がり、旧小学校の校舎廃墟や二宮金次郎の像だけが残っている風景、駅跡跡の建物や森のメカニズムを知る「樹木の森」、台風と林業の歴史を物語る「樹霊碑」、作家小檜山博の生家と文学碑があり、作品の基礎となった生活風景を見ることができます。



## 5日目

いよいよ「たきのうえの長期滞在」も終盤です。お隣のまち「紋別」には、昔東洋一の金山「鴻ノ舞（このまい）」がありました。当時の栄華をほうふつさせる「煙突」や坑口跡などを見ることができます。

上藻別駅跡は現在、資料館になっており鴻ノ舞金山の資料が数多く展示されています。

唄に「銀色の道」というのがありますが、そのモチーフになった「鴻軌鉄道」の鉄道跡も随所に見ることができます。

ここを楽しむには、地元のガイドがおり当時のことなどを説明するツアーもあります（要予約）

そのほか、下川町（約 1 時間）には気動車キハ 22 が展示されています。名寄市には SL と除雪車が重連で展示されており、これは圧巻です。



## 6日目

あっという間の 6 日間。最後は「道の駅・香りの里たきのうえ」でお土産をどうぞ。お勧めは日本一の農業生産を誇る「薄荷（はっか）」製品。また、自然の恵みがもたらした「農産加工品」もぜひどうぞ。

お昼には紋別へ到着。レンタカーを返して。紋別空港から帰路へ……。どうぞお気をつけて！またどうぞ！



### 【滝上でのお泊まりはお選びください】



ホテルコテージタイプ  
ホテル客室タイプ（和室・洋室）  
旅館客室（和室・洋室）  
民宿タイプ

### 【北海道滝上町】

長期滞在プラン  
モデルコース①  
【企画】  
滝上町観光協会